

『一生懸命』幻の新座市議会報告第260弾!



たかむらともや

2025年8月7日発行

③ テマは人を殺す

デマと差別は 人を殺す可能性がある
去年、デマで兵庫県の職員が
自ら命を絶った。

100年前、**デマ**で朝鮮の人だけでなく
日本人も殺された。それは**差別**でもあつた。
そして**差別**によって 80年以上前に
ドイツと 占領下のヨーロッパで
ユダヤ人が虐殺された。

デマだらけの集団が 批判する人を
非国民扱いし、**差別**するならば、
その事は 戦前への回帰を
意味するのではないだろうか？
歴史の過ちを繰り返さない為にも、
殺人の萌芽を 阻止しなければいけない。

デマと差別に断固反対し、
その最悪の組み合わせを
僕は決して許さない。(沖野修也)

* 7月30日(水)の朝刊でこの詩を読んだ時、
黙ってはいけません! 声を上げなくては
いけない……そう思いました。

僕の息子は今、カナダの大学で学んでいます。
カナダの人から見たら、「外国人留学生」
なのです。我が家には今、韓国人のイエダム
という留学生がいます。早稲田大学で学ぶ
彼は毎晩のように僕らに「韓国語」を教えてく
れています。

空がカナダで誰かにお世話になっている。
だから、僕はイエダムを大切にします。

僕の両親は人を「**見かけ**で判断してはいけ
ない」「**学歴**で見えてはいけない。」「**国籍**で見
てはいけないよ。」「**職業**に貴賤はない」そう
教えてくれました。僕は中学校で『この世に
人種は1種類しかない。ホモ・サピエンスだけ
なんだ!』そう子ども達に教えてきました。

外国の方を排斥していくことは僕と僕の両親、
子ども達の生き方を否定することです。

だから、僕も**デマと差別は許さない!** ③



僕の最初の一年生、五中一年三組の子
ども達とのクラス会です。僕の可愛い子
ども達も還暦(笑)。最高の時間でした! ③

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや
東京青山生まれ。

新宿区百人町では
超悪ガキで大問題児
だった。新宿区立西
戸山中でテニスと出
会い、都立石神井高

北海道大でもテニスしかなかった。大学
三年の冬、突然教師になることを決意。新
任で新設新座五中の三年四組の担任とな
り奮闘がはじまる。五中で10年、六中で10
年最高の時間を過ごす。二中で「子ども達
と仲良くするな!」という管理職と激突。三
年二組の子ども達と一緒に卒業しカナダと
アメリカへ。帰国後「たかやん塾」を開設。
子ども達と遊びながら学ぶ姿勢は変わっ
ていない。五中の教え子達と黒目川の川
掃除をはじめて17年。「教育は愛だ!」の
幟を立てての駅立ちをはじめて19年。趣
味はテニス、ギターと歌。子ども達と一緒
に勉強すること、川掃除、手話。写真は

3日の川遊びで沈められる直前の僕。 ③

たかやんの連絡先 自宅・塾 042-456-8869 携帯 090-6497-5737

takayanchan@outlook.jp

〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

🧐 授業は楽しい！！

昔々、五中で初めて一年生に理科を教えることになったとき、先輩にこう言われました。「小学校で理科嫌いの子が多くて困る」「なにかいい方法はないかしら。」と。

そこで、24歳の僕は考えました。理科の授業を好きにさせればいいんだから…（そうだ！昔、西戸山中の中田先生が突然**ギター**を抱えて登場したみたいで、俺も**ギター**を持って行こう！）中田先生は英語の歌を教えることで、PPMやジョン・バエズの歌を歌うことで僕らを英語好きにさせてくれました。僕は千春や剛の歌を歌うことで、理科を好きにさせるという**無謀な作戦**を考え授業の最初の5分で歌いました。

そして、“試験に出るマーク”☆なるものを開発し、そこをやっておけばテストは絶対に大丈夫だ！と、**テスト問題を授業の中で教えた**のです。その結果…子ども達の成績は急上昇。五中の子達は学力テストで**県でトップ**になったのです。勿論、入試でもいい結果を出したのです。

普段の授業で入試に出る場所を☆で教えていたので、僕の授業の評価はどんどん高くなり、僕は益々調子に乗って、授業で歌いまくり、☆を描いて子ども達の“海馬”を刺激していきました。

この7月にも五中の「アフターチャレンジ」で授業をさせてもらい、十文字学園女子大学でも授業をさせてもらい、**ギター**を弾いて歌ってきました。（笑）90分間、みんな集中してくれて、質問もしてくれて楽しかったです。十文字のみなさん！**ありがとう！** 🧐



🧐 「先生の日」の感想3

『先生の日』**楽しかったあ〜！！**

題名の「先生の日」はたかやんの目から見た風景と思って読み始めたけど、それも含めて美佐子先生や、河合先生や関わった先生方の目だったんですね。

先生になる前の1960年から、1977年の先生が子供の頃の話（すごく面白かった）や夢中になった事、出来事、そして大人達。

大学在学中、朝日新聞を読んで教師になる！って決めた事とか、初めて知る、先生の軌跡がすごく楽しかった！

1977年から1987年教師になってからの色々な出来事や、この先に引っ張ってくれた中村校長先生や、甲神先生、神宮司先生がお父さんやお兄さんやお母さんみたいな存在になって行く先輩達との出会いがあって、中身の濃いたかやんの道。本当に楽しく読ませていただきました！

（五中4期生1年3組 紀子）🧐

🧐 移民政策は間違いだ・・・

差別はダメだ！と書きましたが、自公政権の「移民政策」は間違いです。

「**移民政策**」は主に外国からの**低賃金労働力の導入**が目的だからです。

介護、建設、製造、農業、運送などの分野での「外国人人材確保」は外国人を低賃金で働かせることで、儲けることが目的になってしまっています。当然、労働環境は劣悪なことも多く、日本を夢見て来た外国人労働者が逃げ出すことも多いのです。

それは同時に同じ職場で働く日本人労働者の賃金を下げることに繋がっていきます。労働者不足であれば、賃金は上がるはずなのに上がらない。外国人労働者の存在は無関係ではありません。

それに加えて「**消費税**」の課税の仕組みによって、正規雇用が**非正規雇用**にどんどん移行して来ているのですから、結婚できない人が増える→**少子化は当たり前**です。

生活の苦しさの原因を「外国人」に向けてはだめ！**自公政権**に向けなくては！！

